

上矢作小学校だより

大 船 山

第 12 号
令和 3 年 10 月 15 日

ホムパ・ジアドリス <http://www.ena-gif.ed.jp/kamiyahagi-e/>

エッセンシャルワーカー

校 長 細江 幸次

9月末にようやく緊急事態宣言が解除され、それにともなって学校の活動も徐々に活気を取り戻してきたように感じています。学校外部から指導に来ていただく方々に対しては、県下で統一的に緊急事態宣言中は来校をご遠慮願うという、これまでにない厳しい措置をとらせていただきました。そういった徹底した感染対策とワクチン接種が進んだことなどもあり、現在、第5波は想像以上の減少傾向となっています。しかし、まだ予断は許さない状況です。これから寒い時期に入り、インフルエンザの心配もあり、昨年の第3波と重なる時期にもなります。しばらくはこれまで通りの感染対策を愚直にやり続けていくしかありません。

新型コロナ感染の第5波はこれまでにない大きな感染拡大を見せました。自分のすぐ近くまで感染の波が来ているという危機感を地域の方の多くがもっていたと思います。しかし、ワクチン接種を無事終わらせることができ、通常の医療も受けられ、また、日常の消費生活に特に困ることなく過ごすことができたのも、「エッセンシャルワーカー」と呼ばれる方々に依るところが大きいと感じています。この呼称は新型コロナ感染が拡大し始めた頃から使われるようになった言葉で、「社会生活を支える仕事をしている方々」を指しています。その職種は、医療・福祉、農業、小売、通信、公共交通機関等、様々な職業におよび、決して特殊な職業ではなく、むしろ私たちの身近でお世話になっている方々ばかりです。しかし、よく考えてみれば、私たちはその多くの方たちの顔や名前をほぼ知ることなく、お世話になっている現実があります。また、働く人たちも自分の顔や名前を知ってもらおうと働いているわけではないと思います。こうやって私たちの社会は「互いに支え合って」できているのだと改めて気づくことができます。

1ヵ月ほど遅れて運動会の取組が始まりました。運動会では子どもたちにも様々な役割があります。ひとつひとつの役割は簡単な打ち合わせ程度でできるものから、何度も予行練習をするものまであります。しかし、どの係もしっかり機能しないと運動会の進行・運営が滞ってしまうものばかりです。その意味でいくと子どもたちに与えられたひとつひとつの役割はエッセンシャルワーカーのような側面をもっているような気がしてなりません。同じ地域で育った仲間ですから顔も名前も知っていますが、成長に従って子どもたちが活躍するフィールドが徐々に広がっていくと、そんな側面もどんどん本物のエッセンシャルワーカーに近づいていくと思うのです。「日常」を活かす「行事」、「行事」から得る「日常」の中にはそんなキャリア教育のような側面もあると感じています。

これまで停滞していた様々な活動や行事を残り3ヵ月となった2学期で行っていくことになります。当初に計画された予定がかなり濃縮されるような形で実施していくイメージをもっています。日頃からお伝えしている「日常」と「行事」を両輪とした教育活動の立場から、子どもたちに無理な負担をかけることなく進めていかなければなりません。ご家庭でもお子様の健康管理には十分注意していただき、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



Topic

■野菜・米の収穫の時期を迎えました



9月21日(火)、5年生が稲刈り作業を行いました。緊急事態宣言が出されているため、あらかじめ営農組合の方々に全体の3分の2の稲を刈っていただき、当日の授業時間の子どもたちが刈り取るという形で行いました。

日頃から刃物を使うことも、物を縛ることも実際にやるのが少なくなっている昨今です。それだけでも、上矢作っ子には貴重な体験となりました。

■6年生が串原小と遠隔授業



9月29日(水)4校時において、6年生が串原小6年生の仲間とZoomによる英語のリモート授業を行いました。

夏休みの思い出を互いに英語で伝えあい、交

流するという学習活動でした。6年生はタブレットの使い方にも十分慣れており、自信をもって串原小の仲間と英語によるやり取りができていました。リモート内では小グループが4つつくられており、英語で話す機会も十分確保できていました。小規模校での有効な学習方法として今後も機会をとらえて実施していく予定です。

■運動会の練習が本格化



開閉会式練習



1～3年練習



4～6年練習

10月に入り、運動会の練習が本格化してきました。9月中は緊急事態宣言のために全く練習ができませんでしたが、その遅れを取り返したいという子どもたちの強い思いが伝わってくるような集中力の高い練習ができています。運動会の開催が遅くなった分、暑さも和らいだ中での練習です。熱中症の心配も低く、そのことも集中力の高い練習の一助となっています。また、上級生から下級生へとやり方を教えたり、助言をしたりする様子もあちこちに見られ、学年を超えてのつながりも深まっています。

■上矢作っ子の活躍

* 第40回火災予防ポスター展 岩村消防署長賞 2年 松下 夕祐